

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2013年6月28日～2044年9月20日まで	
運用方針	主にオーストラリアの証券取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「フランクリン・テンプルトン・オーストラリア高配当株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	当ファンド	オーストラリアの証券取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	当ファンド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	当ファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算日（原則として毎年3月20日及び9月20日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

フランクリン・テンプルトン・ オーストラリア高配当株ファンド (年2回決算型)

運用報告書（全体版）

第25期 決算日 2025年9月22日

— 受益者のみなさまへ —

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「フランクリン・テンプルトン・オーストラリア高配当株ファンド（年2回決算型）」は、2025年9月22日に第25期の決算を行いましたので、期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問合わせ先

TEL 03-5219-5947

（受付時間 営業日の9:00～17:00）

<https://www.franklintempleton.co.jp>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額				株組入比率	株先物比率	投資信託券組入比率	純資産額
		税分	込配み金	期騰落	中率				
21期(2023年9月20日)	円 18,207		円 0	% 9.8		% 86.7	% —	% 10.8	百万円 14,297
22期(2024年3月21日)	20,609		0	13.2		86.7	—	10.4	18,541
23期(2024年9月20日)	21,334		0	3.5		87.5	—	10.1	22,743
24期(2025年3月21日)	20,592		0	△ 3.5		88.2	—	9.7	20,601
25期(2025年9月22日)	23,903		0	16.1		86.8	—	10.6	24,886

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	基準価額		株組入比率	株先物比率	投資信託証券組入比率
		騰落率	%			
(期首) 2025年3月21日	円 20,592		% —	% 88.2	% —	% 9.7
3月末	20,891		1.5	87.7	—	9.9
4月末	20,401		△ 0.9	88.8	—	10.4
5月末	21,402		3.9	88.5	—	10.5
6月末	21,905		6.4	88.9	—	10.3
7月末	23,082		12.1	88.9	—	10.4
8月末	23,777		15.5	88.2	—	10.9
(期末) 2025年9月22日	23,903		16.1	86.8	—	10.6

(注) 謄落率は期首比です。

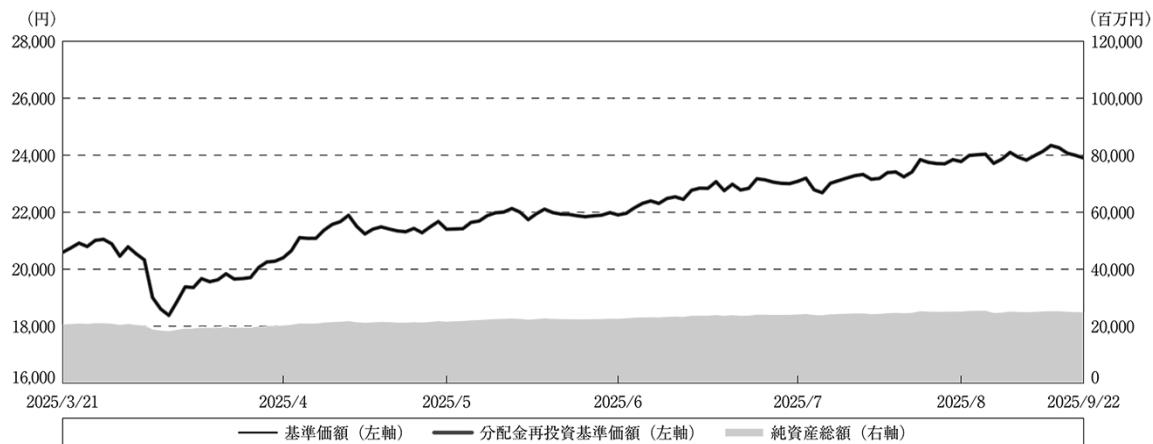
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2025年3月22日～2025年9月22日)



期 首：20,592円

期 末：23,903円（既払分配金(税込み)：0円）

騰落率： 16.1%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額は、期首（2025年3月21日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラスとなりました。

株式要因については、保有銘柄からの配当を手堅く確保したほか、株式市場が上昇したことから価格要因もプラスとなりました。また、豪ドル高・円安を反映して為替要因もプラスとなりました。

当期のオーストラリア株式市場は、上昇しました。

期の前半は、トランプ米政権による関税強化に対して中国が対抗措置を発表したことなどを受け、世界的な景気後退への懸念が高まったことから、株式市場は下落しました。しかし、その後はトランプ米政権による相互関税の一部停止などを受けて市場に安堵感が広がったため、株式市場は上昇に転じました。

期の半ばは、オーストラリア準備銀行(RBA)が利下げを実施したほか、その後もオーストラリアの経済指標の悪化を受けて、RBAの追加利下げ観測が高まつたことから、株式市場は上昇しました。

期の後半は、トランプ米大統領がオーストラリアに対する関税率を10%に据え置いたことで関税への過度な懸念が後退したほか、RBAが追加利下げを実施したことから、株式市場は上昇しました。しかし、その後はオーストラリアの実質国内総生産(GDP)成長率が市場予想を上回る伸びとなつたことなどから、RBAの利下げ継続観測が後退したため、株式市場は上値の重い展開となりました。

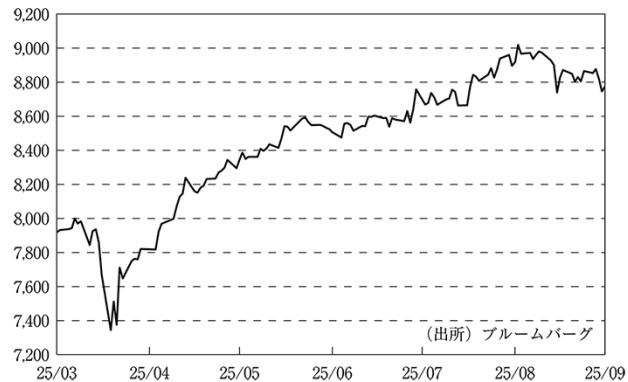
当期の豪ドル・円相場は、豪ドル高・円安となりました。

期の前半は、トランプ米大統領による相互関税などの発表を受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まつたため、安全資産とされる日本円が対豪ドルで上昇しました。しかし、その後は米中が相互関税を一時的に引き下げることで合意し、世界の2大経済大国の貿易戦争で世界的な景気後退が引き起こされるとの懸念が和らいだことから、豪ドル高・円安に転じました。

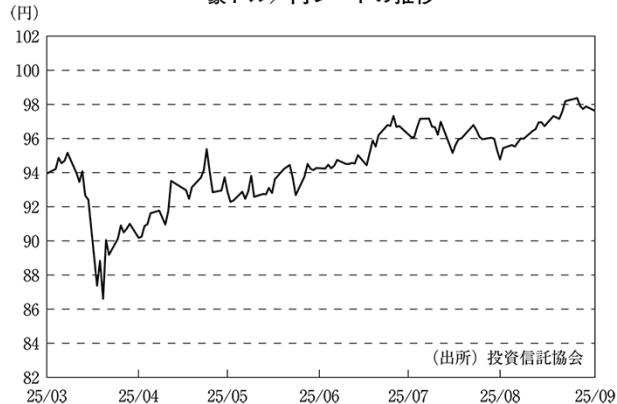
期の半ばは、米中による電話協議開催の報道を受け、世界的な貿易摩擦の激化が回避されるとの期待が高まつたことから、投資家のリスク選好姿勢が強まつたため、豪ドル高・円安が優勢となりました。

期の後半は、豪消費者物価指数(CPI)の伸びが市場予想を下回つたことなどから、RBAの早期利下げ観測が高まる、豪ドル安・円高が一時優勢となりました。しかし、その後は石破首相の退陣表明を受け日本の政治情勢がより不透明になると警戒が高まり、豪ドル高・円安が進みました。

オーストラリア株式指数(S&P/ASX200)の推移



豪ドル／円レートの推移



当ファンドのポートフォリオ

(2025年3月22日～2025年9月22日)

当ファンドは、主に「フランクリン・テンプルトン・オーストラリア高配当株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にオーストラリアの証券取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。また、組入れ外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当期においては、高水準の配当利回りが期待できるオーストラリア株式への投資を行いました。

分配金

(2025年3月22日～2025年9月22日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきました。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項目	第25期
	2025年3月22日～ 2025年9月22日
当期分配金 (対基準価額比率)	— -%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	14,502

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンドは、主にオーストラリアの証券取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うファンドです。引き続き、市場環境を注視しながら、投資魅力度が高く、高配当が期待できる銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行ってまいります。

○1万口当たりの費用明細

(2025年3月22日～2025年9月22日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 203	% 0.926	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(98)	(0.446)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(98)	(0.446)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後のお情報提供等の対価
(受託会社)	(7)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.015	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(3)	(0.014)	
(投資証券)	(0)	(0.001)	
(c) その他の費用	2	0.010	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷等費用)	(1)	(0.004)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合計	208	0.951	
期中の平均基準価額は、21,909円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

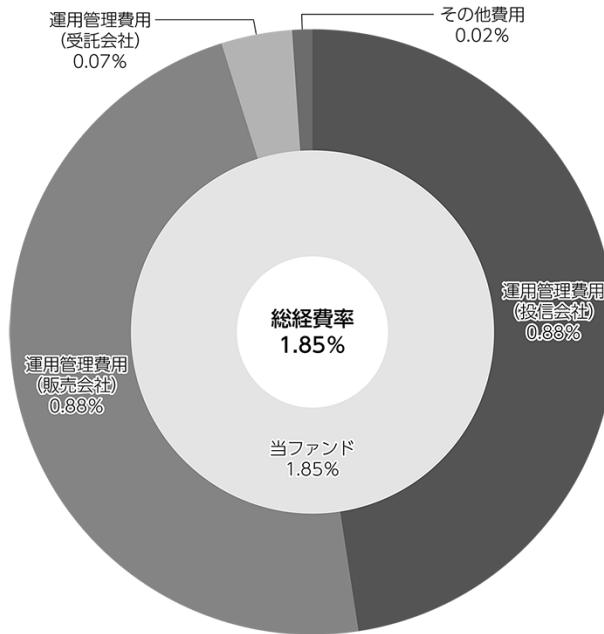
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年3月22日～2025年9月22日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柏	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千 口	千 円	千 口	千 円
フランクリン・テンプルトン・オーストラリア高配当株マザーファンド	1,017,702	4,859,830	872,893	4,181,393

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2025年3月22日～2025年9月22日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	フランクリン・テンプルトン・オーストラリア高配当株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	29,760,919千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	189,541,101千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.16

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年3月22日～2025年9月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2025年3月22日～2025年9月22日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年3月22日～2025年9月22日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2025年9月22日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 價 額
フランクリン・テンプルトン・オーストラリア高配当株マザーファンド	千口 4,769,372	千口 4,914,181	千円 25,096,233

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2025年9月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 價 額	比 率
フランクリン・テンプルトン・オーストラリア高配当株マザーファンド	千円 25,096,233	% 99.5
コール・ローン等、その他	134,620	0.5
投資信託財産総額	25,230,853	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) フランクリン・テンプルトン・オーストラリア高配当株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(226,488,845千円)の投資信託財産総額(227,399,763千円)に対する比率は99.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月22日における邦貨換算レートは1オーストラリアドル=97.62円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年9月22日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
フランクリン・テンブルトン・オーストラリア高配当株マザーファンド(評価額)	25,230,853,126
未収入金	25,096,233,109
(B) 負債	134,620,017
未払解約金	344,272,106
未払信託報酬	134,620,017
その他未払費用	208,533,960
(C) 純資産総額(A-B)	1,118,129
元本	24,886,581,020
次期繰越損益金	10,411,553,431
(D) 受益権総口数	14,475,027,589
1万口当たり基準価額(C/D)	10,411,553,431口
	23,903円

<注記事項>

元本の状況
 期首元本額 10,004,473,872円
 期中追加設定元本額 2,166,710,054円
 期中一部解約元本額 1,759,630,495円
 期末における1口当たりの純資産額は2,3903円です。

○損益の状況 (2025年3月22日～2025年9月22日)

項目	当期末
(A) 有価証券売買損益	円
売買益	3,283,956,905
売買損	3,634,177,276
(B) 信託報酬等	△ 350,220,371
(C) 当期損益金(A+B)	△ 209,652,089
(D) 前期繰越損益金	3,074,304,816
(E) 追加信託差損益金	2,356,336,991
(配当等相当額)	9,044,385,782
(売買損益相当額)	(9,654,063,577)
(F) 計(C+D+E)	(△ 609,677,795)
(G) 収益分配金	14,475,027,589
次期繰越損益金(F+G)	0
追加信託差損益金	14,475,027,589
(配当等相当額)	9,044,385,782
(売買損益相当額)	(9,668,654,812)
分配準備積立金	(△ 624,269,030)
	5,430,641,807

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の96相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決算期	当期末
(A) 配当等収益(費用控除後)	602,854,756円
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	1,602,382,600
(C) 収益調整金	9,668,654,812
(D) 分配準備積立金	3,225,404,451
分配対象収益額(A+B+C+D)	15,099,296,619
(1万口当たり収益分配対象額)	(14,502)
収益分配金	0
(1万口当たり収益分配金)	(0)

＜お知らせ＞

＜主な約款変更に関するお知らせ＞

2023年11月の「投資信託及び投資法人に関する法律」（以下、「投信法」）の一部改正に伴い、投信法第14条第1項に規定する事項を記載した書面（運用報告書（全体版））に記載すべき事項を電磁的方法により提供できるよう、投資信託約款に所要の変更を行いました。

デジタル化推進のもと、今回の投信法及び関連規則等の改正により、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されております。

（変更日：2025年4月1日）

フランクリン・テンプルトン・オーストラリア高配当株マザーファンド

運用状況のご報告

第14期 決算日 2025年9月22日

(計算期間：2024年9月21日～2025年9月22日)

— 受益者のみなさまへ —

法令・諸規則に基づき、「フランクリン・テンプルトン・オーストラリア高配当株マザーファンド」の第14期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限（2011年9月29日設定）
運 用 方 針	<ol style="list-style-type: none">主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券を中心に投資を行います。主に配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。また、銘柄の流動性に配慮しながらポートフォリオを構築します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	オーストラリアの証券取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		株組入式率	株先物式率	投資信託組入比	純総資産額
	期騰	中落率				
10期(2021年9月21日)	円 29,191	% 40.0	% 82.8	% —	% 14.1	百万円 349,369
11期(2022年9月20日)	35,256	20.8	83.8	—	12.3	290,530
12期(2023年9月20日)	37,545	6.5	85.9	—	10.7	246,876
13期(2024年9月20日)	44,766	19.2	86.8	—	10.0	240,116
14期(2025年9月22日)	51,069	14.1	86.0	—	10.5	227,099

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株組入式率	株先物式率	投資信託組入比	純総資産額
	期首	騰落率				
2024年9月20日	円 44,766	% —	% 86.8	% —	% 10.0	10.0
9月末	45,425	1.5	88.0	—	—	9.8
10月末	45,452	1.5	88.9	—	—	9.7
11月末	45,651	2.0	89.0	—	—	9.9
12月末	44,953	0.4	87.9	—	—	9.6
2025年1月末	45,150	0.9	89.2	—	—	9.9
2月末	44,232	△ 1.2	88.0	—	—	9.7
3月末	44,277	△ 1.1	87.7	—	—	9.9
4月末	43,301	△ 3.3	88.6	—	—	10.4
5月末	45,489	1.6	88.2	—	—	10.5
6月末	46,628	4.2	88.5	—	—	10.2
7月末	49,196	9.9	88.3	—	—	10.3
8月末	50,740	13.3	87.6	—	—	10.8
(期末) 2025年9月22日	51,069	14.1	86.0	—	—	10.5

(注) 謄落率は期首比です。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年9月21日～2025年9月22日)



○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラスとなりました。

株式要因については、保有銘柄からの配当を手堅く確保したほか、株式市場が上昇したことから価格要因もプラスとなりました。また、豪ドル高・円安を反映して為替要因もプラスとなりました。

投資環境

当期のオーストラリア株式市場全体は上昇しました。

期の前半は、オーストラリア準備銀行(RBA)理事会の議事要旨がハト派的だったことなどを背景に利下げ観測が強まつたことから、株式市場は底堅く推移しました。

期の半ばは、トランプ米政権の関税措置による貿易戦争激化への懸念から、投資家のリスク回避姿勢が強まつたため、株式市場は下落しました。しかし、その後はトランプ米政権による相互関税の一部停止などを受けて市場に安堵感が広がつたことから、株式市場は上昇に転じました。

期の後半は、RBAの利下げを受けて、株式市場は堅調に推移しました。また、トランプ米大統領がオーストラリアに対する関税率を10%に据え置いたことを背景に、市場で関税への過度な懸念が後退したこと、株式市場の上昇要因となりました。

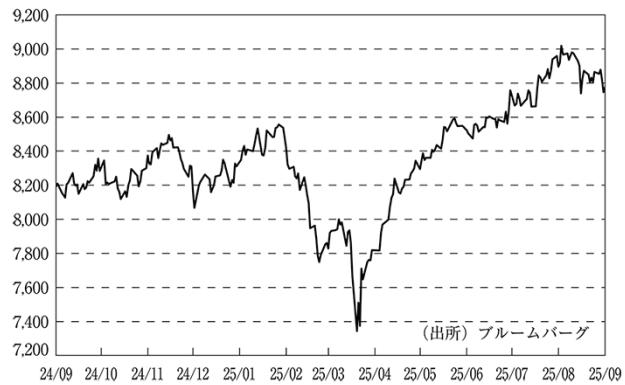
当期の豪ドル・円相場は、若干の豪ドル高・円安となりました。

期の前半は、東京都区部消費者物価指数(CPI)が市場予想を上回ったことで、2024年12月に日銀が利上げに踏み切るのではないかとの思惑が強まつたことから、豪ドル安・円高が優勢となりました。

期の半ばは、トランプ米大統領による相互関税などの発表を受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まつたため、安全資産とされる日本円が対豪ドルで上昇しました。しかし、その後は米中が相互関税を一時的に引き下げることで合意し、世界の2大経済大国の貿易戦争で世界的な景気後退が引き起こされるとの懸念が和らいだことから、豪ドル高・円安に転じました。

期の後半は、米中による電話協議開催の報道を受け、世界的な貿易摩擦の激化が回避されるとの期待が高まつたことから、投資家のリスク選好姿勢が強まつたため、豪ドル高・円安が優勢となりました。また、石破首相の退陣表明を受け日本の政治情勢がより不透明になるとの警戒が高まつたことも、豪ドル高・円安の要因となりました。

オーストラリア株式指数(S&P/ASX200)の推移



豪ドル／円レートの推移



当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主にオーストラリアの証券取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。当期においては、高水準の配当利回りが期待できるオーストラリア株式への投資を行いました。

○今後の運用方針

当ファンドは、主にオーストラリアの証券取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うファンドです。引き続き、市場環境を注視しながら、投資魅力度が高く、高配当が期待できる銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行ってまいります。

○1万口当たりの費用明細

(2024年9月21日～2025年9月22日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 （株式） （投資証券）	円 15 (15) (0)	% 0.034 (0.033) (0.001)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) その他の費用 （保管費用）	4 (4)	0.008 (0.008)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	19	0.042	
期中の平均基準価額は、45,874円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2024年9月21日～2025年9月22日)

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外国	オーストラリア	百株 270,015 (26,805)	千オーストラリアドル 213,070 (49,428)	百株 571,853 (30,796)	千オーストラリアドル 507,437 (57,470)

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘柄	買付		売付		
	口数	金額	口数	金額	
外 国	オーストラリア	百口	千オーストラリアドル	百口	千オーストラリアドル
	GPT GROUP	—	—	10,794	5,611
	VICINITY CENTRES	21,223	4,554	6,580	1,354
	SCENTRE GROUP	—	—	32,458	11,792
	STOCKLAND	—	—	9,454	5,636
	小計	21,223	4,554	59,287	24,394

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2024年9月21日～2025年9月22日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	69,463,675千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	196,155,894千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.35

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年9月21日～2025年9月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年9月22日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(オーストラリア)	百株	百株	千オーストラリアドル	千円		
ANZ GROUP HOLDINGS LTD	42,143	37,464	123,821	12,087,470	金融	
WESTPAC BANKING CORP	15,002	8,973	34,591	3,376,802	金融	
TELSTRA CORP LTD	340,585	216,184	104,417	10,193,199	コミュニケーション・サービス	
BENDIGO AND ADELAIDE BANK	19,933	15,772	20,220	1,973,941	金融	
BHP GROUP LTD	19,219	28,435	112,716	11,003,384	素材	
HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD	84,303	55,542	40,712	3,974,353	一般消費財・サービス	
TRANSURBAN GROUP	47,608	63,015	88,158	8,606,016	資本財・サービス	
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	2,649	1,341	22,293	2,176,262	金融	
RIO TINTO LTD	3,977	3,858	43,991	4,294,412	素材	
APA GROUP	102,932	117,402	103,783	10,131,382	公益事業	
INSURANCE AUSTRALIA GROUP	46,547	22,757	18,911	1,846,102	金融	
FLIGHT CENTRE TRAVEL GROUP LTD	21,165	26,351	31,858	3,110,056	一般消費財・サービス	
ELDERS LTD	35,096	40,791	31,205	3,046,309	生活必需品	
GWA GROUP LTD	32,972	31,988	7,965	777,558	資本財・サービス	
DOWNER EDI LTD	76,057	73,787	53,348	5,207,888	資本財・サービス	
WORLEY LTD	15,863	29,236	40,697	3,972,918	資本財・サービス	
SUNCORP GROUP LTD	37,082	22,813	46,540	4,543,241	金融	
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	20,069	15,411	67,486	6,588,055	金融	
PERPETUAL LTD	13,319	12,922	24,681	2,409,372	金融	
JB HI-FI LTD	5,647	2,214	26,334	2,570,797	一般消費財・サービス	
INSIGNIA FINANCIAL LTD	127,693	83,520	37,500	3,660,796	金融	
QBE INSURANCE GROUP LTD	55,890	40,264	81,737	7,979,242	金融	
WESFARMERS LTD	4,659	3,102	28,875	2,818,859	一般消費財・サービス	
WOOLWORTHS GROUP LTD	12,613	13,762	37,682	3,678,522	生活必需品	
BRAMBLES LTD	28,575	9,362	23,097	2,254,769	資本財・サービス	
MACQUARIE GROUP LTD	2,160	1,329	29,596	2,889,186	金融	
AURIZON HOLDINGS LTD	328,105	294,164	94,426	9,217,950	資本財・サービス	
NINE ENTERTAINMENT CO HOLDING LTD	249,224	241,788	28,047	2,737,998	コミュニケーション・サービス	
ORORA LTD	166,925	161,944	34,008	3,319,903	素材	
DETERRA ROYALTIES LTD	—	57,100	23,582	2,302,132	素材	
AMPOL LTD	8,831	15,650	46,528	4,542,082	エネルギー	
LOTTERY CORP LTD/THE	92,525	89,764	52,602	5,135,026	一般消費財・サービス	
VENTIA SERVICES GROUP PTY LTD	118,434	92,447	46,870	4,575,539	資本財・サービス	
ENDEAVOUR GROUP LTD/AUSTRALIA	62,218	60,361	22,092	2,156,663	生活必需品	
AMOTIV LTD	14,423	16,160	14,318	1,397,780	一般消費財・サービス	
MEDIBANK PRIVATE LTD	342,846	219,799	107,482	10,492,410	金融	
IPH LTD	25,991	38,796	14,936	1,458,123	資本財・サービス	
AGL ENERGY LTD	63,967	68,963	60,205	5,877,258	公益事業	
SOUTH32 LTD	105,824	127,343	33,109	3,232,135	素材	
COLES GROUP LTD	36,927	24,329	57,467	5,609,941	生活必需品	
ATLAS ARTERIA	144,640	138,170	72,401	7,067,823	資本財・サービス	
INGHAM'S GROUP LTD	—	44,427	11,195	1,092,930	生活必需品	
合計	株数	全額	2,974,653	2,668,825	2,001,501	
	銘柄	株数	<比率>	40	42	
				—	<86.0%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の(%)内は、純資産総額に対する株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末			比 率	
	口 数	口 数	評 價 額				
			外貨建金額	邦貨換算金額			
(オーストラリア)	百口	百口	千オーストラリアドル	千円	%		
GPT GROUP	77,082	66,288	35,729	3,487,900	1.5		
STOCKLAND	65,490	56,035	34,966	3,413,412	1.5		
SCENTRE GROUP	313,447	280,989	114,643	11,191,510	4.9		
VICINITY CENTRES	220,547	235,191	58,797	5,739,840	2.5		
合 計	676,568	638,504	244,137	23,832,664	<10.5%		
銘 柄	口 数	金 額					
	数 <比 率>		4	4			

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する投資信託証券評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年9月22日現在)

項 目	当 期 末		比 率
	評 價 額	千円	
株式	195,386,603	195,386,603	85.9
投資証券	23,832,664	23,832,664	10.5
コール・ローン等、その他	8,180,495	8,180,495	3.6
投資信託財産総額	227,399,763	227,399,763	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産（226,488,845千円）の投資信託財産総額（227,399,763千円）に対する比率は99.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので。なお、9月22日における邦貨換算レートは1オーストラリアドル=97.62円です。

○特定資産の価格等の調査

(2024年9月21日～2025年9月22日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年9月22日現在)

項目	当期末
(A) 資産	
コール・ローン等	230,252,603,080
株式(評価額)	2,854,131,831
投資証券(評価額)	195,386,603,875
未収入金	23,832,664,612
未収配当金	4,386,357,102
未収利息	3,792,836,935
	8,725
(B) 負債	3,152,837,223
未払金	2,852,839,499
未払解約金	299,997,724
(C) 純資産総額(A-B)	227,099,765,857
元本	44,468,995,313
次期繰越損益金	182,630,770,544
(D) 受益権総口数	44,468,995,313口
1万口当たり基準価額(C/D)	51,069円

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	53,638,243,671円
期中追加設定元本額	4,274,555,907円
期中一部解約元本額	13,443,804,265円
期末における1口当たりの純資産額は5.1069円です。	
(注) 期末における元本の内訳	
フランクリン・テンブルトン・オーストラリア高配当株ファンド（毎月分配型）	21,779,042,064円
フランクリン・テンブルトン・オーストラリア高配当株ファンド（道格機関投資家専用）	17,674,109,583円
フランクリン・テンブルトン・オーストラリア高配当株ファンド（年2回決算型）	4,914,181,423円
フランクリン・テンブルトン・オーストラリア高配当株ファンド（清算ヘッジあり）（年2回決算型）	60,956,234円
フランクリン・テンブルトン・オーストラリア高配当株ファンド（清算ヘッジあり）（毎月分配型）	40,706,009円

○損益の状況

(2024年9月21日～2025年9月22日)

項目	当期末
(A) 配当等収益	11,061,093,904
受取配当金	10,997,340,787
受取利息	63,753,117
(B) 有価証券売買損益	17,814,042,093
売買益	28,918,916,942
売買損	△ 11,104,874,849
(C) 保管費用等	△ 17,070,615
(D) 当期損益金(A+B+C)	28,858,065,382
(E) 前期繰越損益金	186,477,956,285
(F) 追加信託差損益金	15,575,101,549
(G) 解約差損益金	△ 48,280,352,672
(H) 計(D+E+F+G)	182,630,770,544
次期繰越損益金(H)	182,630,770,544

(注) 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

<主な約款変更に関するお知らせ>

2023年11月の「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い、改正法令の文言に合わせるため、約款に所要の変更を行いました。

(変更日：2025年4月1日)